

# 令和8年度 西白井公民館 事業計画 (案)

## 1 課題 (※箇条書き、施設等のハード面は除くこと)

### (1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・講座や事業の参加者が高齢化している
- ・自主事業からサークルに移行したいが、リーダーがいなく難しい
- ・子育て世代の年齢層の自主事業への関心がうすい
- ・公民館の利用が減少している

## 2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

### 令和8年度 西白井公民館 運営方針

#### （1）全体の運営方針

- ・住みやすいまちをつくるため、地域と協働していく
- ・子どもから高齢者、障がい者まで利用しやすく安全安心な場を築く
- ・地域住民が参加しやすく、共に活躍できる場を提供する

#### （2）分野別方針（※箇条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て中の保護者同士が交流し、お互いに支え合える仲間を作る ②子育ての支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みを作る ③子育て中の問題を解決できる手立てを学ぶ
青少年教育 (2)	①考え方や性格の異なる人同士が交流し、社会性を養う ②様々な学習活動に取り組むことで、学ぶことの楽しさや充実感を実感する ③講座を通し考察力や表現力を身に付け、コミュニケーション能力を高める ④自ら考え行動する青少年を地域で育成する
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する ②レクリエーションや運動により、加齢による能力の低下を予防する ③情報共有し、自身や地域の抱える身近な問題の解決方法を考える ④より良く快適に生活するための知恵を身に付ける ⑤高齢者や子育て世代の生活を充実させる
団体育成 (4)	①地域で活躍する人材と協力し、活動の発展や新たな活動の場を作り出す ②地域住民が交流し、活動に取り組むための仲間作りの場を提供する ③活動が停滞した団体をサポートし、活動状態が盛んになることを目指す

#### （3）令和8年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・幅広い年齢層が参加でき、活躍できる西白井複合センターまつりを実施
- ・受講者が増えている講座を継続して行い、サークル化を目指す
- ・関心はあるが聞きづらいことを教えてもらえる講座に重点を置く

### 3 西白井公民館 講座等実施計画書

(現時点での予定を記載のこと)

#### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加数(予定)	R7年度(含見込)	
家庭教育 (1)	おやこ広場	①②③	10 回	100組200 人	101組212 人
	ファミリータイム	①②	1 回	10組20 人	6組18 人
青少年 教育 (2)	将棋のじかん	①②④	12 回	120 人	80 人
	夏休み子ども手芸教室	①②③	1 回	10 人	新規 人
	パステルアートで遊ぼう	①②③	1 回	10 人	19 人
	レッツクッキング	①②③	1 回	12 人	12 人
	読書感想文の書き方教室	②③	1 回	8 人	中止 人
	書き初め練習会	①②	1 回	12 人	12 人
	親子でパン教室	①②	1 回	10組20 人	8組18 人
	作ってあそぼ	①③	10 回	100 人	84 人
成人 教育 (3)	エンディングノートを書いてみよう	①③④	1 回	15 人	19 人
	遺言と相続を考えよう	①③④⑤	1 回	15 人	23 人
	しろいネクスト5・10 みりょく発見	①②③	2 回	30 人	30 人
	40歳から始めよう！	①②④⑤	3 回	45 人	47 人
	大人のパン教室	①④⑤	1 回	15 人	15 人
	はじめての和菓子講座	①④	2 回	20 人	20 人
	障がい者のための水彩画教室	①④	1 回	5 人	4 人
	スクレツィアート画教室	①④	1 回	5 人	7 人
	親子で！プラネタリウムへ行こう	①③⑤	2 回	20組50 人	20組50 人
団体育 成 (4)	手芸カフェ	①②	12 回	120 人	170 人
	シニア向け！英語教室	①②	2 回	40 人	29 人

## (2) 講座以外に行う事業 (※簡条書きで)

- ・西白井複合センターまつり (3回の調整会議含む)
- ・公民館利用者連絡協議会
- ・ともしびの夕べin白井
- ・レクホール開放

## (3) 情報の提供 (※簡条書きで)

- ・ポスター、チラシの掲示
- ・広報しろいへ掲載
- ・西白井複合センターだより、児童館だより、自主事業ポスターの配付と掲示
- ・センターまつりのチラシを近隣へ配付
- ・ホームページへ記載
- ・ブログへ掲載
- ・SNSを活用
- ・地域情報誌へ掲載

## (4) 施設の提供 (※簡条書きで)

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへ施設を貸し出す
- ・サロン開催や市民活動の場として多目的室を提供
- ・ロビーなどで、地域住民が交流できる場を提供
- ・清水口小学校区まちづくり協議会の設立準備へ会議場所を提供

## (5) 各館の特色を生かしたニーズの変化を意識した対応 (※簡条書きで)

- ・駅に近く交通の便が良い所にあるため、駐車や駐輪に気を付ける
- ・センターの存在を周知すること
- ・市内で最も広いホールを使いやすいようにする
- ・来館者の多いセンターのため、安心安全に気を配る

# 令和8年度 白井駅前公民館 事業計画 (案)

## 1 課題

### (1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・多世代の交流の場が少ない
- ・子育て世代が気軽に参加できる場が少ない
- ・子ども、青年が気軽に参加・学べる機会が少ない
- ・新規の利用者が少ない
- ・夜間時間帯の利用者が少ない
- ・新たな充実した自主事業を行うための運営体制の強化（または効率化）

## 2 運営方針

### 令和8年度 白井駅前公民館 運営方針

#### (1) 全体の運営方針

- ・多世代交流可能なイベント創出によるにぎわいづくり
- ・親子参加やこども対象の教室・講座を通して健やかな成長に寄与する
- ・個人単位で参加可能な新規教室、講座を提供する（特に夜間時間帯）
- ・複合施設としての特徴を活かした共催、共同事業を効率よく展開する。

#### (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子育て中の保護者へ子育て支援する機会を創出する</li> <li>②子育て中の保護者へ子育て知識を深める機会を創出する</li> <li>③子育て中の保護者へ仲間作りの機会を創出する</li> </ul>
青少年教育 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学年・学区の異なる子どもたちの交流機会を創出する</li> <li>②学習や体験活動を通して、学ぶことの楽しさを実感する機会を創出する</li> <li>③学生生活の充実に寄与する機会を創出する</li> </ul>
成人教育 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教室や講座を通して学びや交流の機会を創出する</li> <li>②教室や講座を通して健康増進を図る機会を創出する</li> <li>③教室や講座を通して文化教養を学ぶ機会を創出する</li> <li>④教室や講座を通して高齢者の交流、健康増進、教養の向上を図る</li> </ul>
団体育成 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規団体立ち上げやサークル活性化をサポートする機会を創出する</li> <li>②情報提供を行い、市民活動に参加するきっかけづくりを支援する</li> </ul>

#### (3) 令和8年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・気軽に来館してもらえるよう新たな講座, 教室を提案する
- ・多世代の方に来館してもらえるよう教室, 講座の企画、実施内容を充実させる

### 3 白井駅前公民館 講座等実施計画書

(現時点での予定を記載のこと)

#### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R7年度(含見込)	
家庭教育 (1)	Baby time (児童館共催)	①②③	7	回	各14	人	40	人
	チビちゃんポケット (児童館共催)	①②③	7	回	各20	人	40	人
	子育て支援講座 (児童館共催)	①②③	2	回	各10	人	20	人
	おはなしバスケット (児童館共催)	①②③	12	回	各10	人	80	人
	ふれあいカフェテラスおあしす (児童館共催)	①②③	12	回	各10	人	350	人
					回		人	
青少年 教育 (2)	こども体験教室(料理/工作/運動系)(児童館共催)	①②③	5	回	各10	人		人
	親子ピラティス教室 (児童館共催)	①②③	1	回	10	人		人
	親子でパン作り (児童館共催)	①②③	1	回	8	人	18	人
	お化け屋敷 (児童館共催)	①②	1	回	50	人		人
	駅前遊学 (児童館共催) 中高生ルームは毎日開放 (木・日曜日は小学生ルームも開放)	①③		回	260	人	267	人
	イラスト絵画教室	②③	4	回	各10	人		人
	ドキドキ☆お料理チャレンジカップ!	②	1	回	10	人		人
				回		人		人
成人 教育 (3)	料理教室(憩いの家共催)	①②③	2	回	各10	人	20	人
	初めての油絵入門教室(憩いの家共催)	①②③	2	回	各10	人		人
	健康麻雀教室(憩いの家共催)	①②③	8	回	各12	人	96	人
	健康麻雀大会(憩いの家共催)	①②③	1	回	20	人		人
	みんなのステージ(憩いの家共催)	①②③	9	回	各15	人	135	人
	住宅リペアを体験してみよう	①②③	2	回	各5	人		人
	おとなの学び場～期限まであと5年!SDGs!～(憩いの家共催)	①②③	5	回	各15	人		人
	健康★お楽しみ会!(憩いの家共催)	①③④	2	回	各15	人	21	人
団 体 育 成 (4)	仕事帰りの健康美ヨガ	①②	5	回	各15	人		人
								人
								人
					回		人	

## (2) 講座以外に行う事業 (※簡条書きで)

- ・地域懇談会 (利用団体連絡会総会)
- ・まちづくりイベントの推進 (輪音)
- ・駅前ボランティア
- ・白井駅前センターフェスティバル
- ・あそぼうさい

## (3) 情報の提供 (※簡条書きで)

- ・センターだより
- ・子育て通信
- ・ブログ掲載
- ・自主事業ポスター展示
- ・自主事業チラシ配布
- ・地域情報誌掲載
- ・利用者の活動ポスター展示

## (4) 施設の提供 (※簡条書きで)

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供
- ・多世代が交流できる場の提供

## (5) 各館の特色を生かしたニーズの変化を意識した対応 (※簡条書きで)

- ・複合施設として多世代の方が同時に楽しめる事業の企画、運営を行っていききたい。
- ・デジタル社会を意識したeスポーツ関連事業の企画、活用等を行い、新しいコミュニケーション活性化を図っていききたい

# 令和8年度 桜台公民館 事業計画 (案)

## 1 課題 (※箇条書き、施設等のハード面は除くこと)

### (1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・異常気象による中止決定などの判断基準をどこに置くか  
⇒令和7年度事業の「学ぶKidsさくセン合宿～ナイトウォーク～」
- ・参加者の応募が季節に左右される  
⇒令和7年度事業の「大人のチャレンジ～写経体験～」 「白井歴史散策倶楽部」
- ・調理だけでは参加者が集まりにくい  
⇒令和7年度事業の「桜台キッチン」

## 2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

### 令和8年度 桜台公民館 運営方針

#### （1）全体の運営方針

- ・郷土愛を育む講座の企画
- ・参加者同士が交流を持つことができるようなプログラム作成
- ・参加者が参加しやすい日時で他センターと被らない日程を模索する

#### （2）分野別方針（※箇条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 (1)	①多様な環境での子育てを支援し、子育てに対する意識を高める ②同世代の子ども同士、その保護者同士の出会いと交流の場と機会を提供する ③地域健全育成を図り、子育てによる閉塞感を緩和する
青少年教育 (2)	①異年齢、異学年の交流を図り、社会性を育む ②想像力、創意工夫、意欲を高め体験学習の機会を提供する
成人教育 (3)	①ロコモ予防で健康寿命を意識する ②地域に興味を持ち、郷土愛を育てる ③仲間づくりとチャレンジする意欲を支援する
団体育成 (4)	①来年度臨時閉館することもあり、これに該当する講座は特に開催しない

#### （3）令和8年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・「大人のチャレンジ～写経体験～」平塚の延命寺まで出向き写経を行う
  - ・「白井歴史散策倶楽部」白井の文化財や歴史を学び、散策しながら白井を知る
  - ・「桜台キッチンサロン」白井北部の郷土菓子～ばらっぱ饅頭～を作り交流を図る
- 以上、郷土愛を育み交流する講座を主軸に開催する

### 3 桜台公民館 講座等実施計画書

(現時点での予定を記載のこと)

#### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R7年度(含見込)	
家庭教育 (1)	赤ちゃん広場「いちご組」	①②③	5	回	15	人	15	人
				回		人		人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
青少年 教育 (2)	チャレンジタイム企画部	①②	2	回	8	人	4	人
	チャレンジタイムボランティア	①②	1	回	8	人	4	人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
成人 教育 (3)	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～	②③	2	回	8	人	8	人
	大人のチャレンジ～写経体験～	②③	1	回	8	人	8	人
	桜台キッチンサロン～ばらっぱ饅頭づくり～	②③	1	回	12	人	8	人
	リフレッシュ倶楽部～ロコモ予防～	①③	1	回	10	人	10	人
					回		人	人
					回		人	人
					回		人	人
団 体 育 成 (4)				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人
				回		人		人

## (2) 講座以外に行う事業 (※箇条書きで)

- ・ほっとカフェ
- ・さくセンフェスタ
- ・桜台センター利用者連絡会
- ・さくセンフェスタ実行委員会 (3回)

## (3) 情報の提供 (※箇条書きで)

- ・さくセン通信 (毎月発行)
- ・児童館だより (毎月発行)
- ・広報しろい (随時掲載)
- ・ポスター、チラシの掲示と配布
- ・ホームページ (随時更新)
- ・ブログ (随時更新)

## (4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・YSB桜台、ハートの会 (第4金曜17時～19時)
- ・市の健診 (休館日に行う)
- ・選挙があった場合、臨時閉館して期日前投票所とする
- ・桜台小中学校の交通指導員に駐車スペースを提供

## (5) 各館の特色を生かしたニーズの変化を意識した対応 (※箇条書きで)

- ・当センターの特色は小学生の利用が多いこと。
- ・小学生の企画力と意欲をサポートするために令和8年度は新たな講座を企画。
- ・逆に中高生の利用がほとんどなく、令和7年度まで続けてきた居場所づくりは年間を通して利用が0人だったため今年度は開催しないことを決定した。

# 令和8年度 学習等供用施設 事業計画 (案)

## 1 課題 (※箇条書き、施設等のハード面は除くこと)

### (1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- ・センター利用団体参加者の高齢化による活動の沈滞化
- ・大きな事業を実施する際のサポートボランティアの高齢化による減少
- ・乳幼児親子を対象とした講座の参加者が減少している
- ・講座受講からのサークル化がリーダー不足により難しくなっている
- ・開催講座に若年層の参加者が少ない

## 2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

### 令和8年度 学習等供用施設 運営方針

#### （1）全体の運営方針

- ・センター利用団体を講師に迎えた講座を開催し、新規参加者の獲得を支援する。
- ・施設内に事務所を置く地区社会福祉協議会、まちづくり協議会等との連携強化を図る。
- ・開催行事の「市広報誌」への掲載、センター発行の「富士センターだより」の館内掲示及び地域自治会への回覧依頼等によりセンター情報の周知に努める。

#### （2）分野別方針（※箇条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て家庭の交流の場を提供し、子育てに関する不安や悩みの解消を図る。 ②子育て経験の豊富なボランティアとの交流により子育てについて学ぶ。 ③親子のコミュニケーションを深める。 ④遊びや学びの場を提供し、子供たちの視野を広げ、社会性や協調性を育む。
青少年教育 (2)	①学習・体験活動を通して視野を広げ、「知る」楽しさを学ぶ。 ②年齢にとらわれない子供たちによる交流の場を提供する。 ③講座等を通して様々な人との交流を促し、社会参加の促進を図る。 ④子どもの居場所の提供。
成人教育 (3)	①講座等を通して同じ趣味の人との交流の場を提供する。 ②世代を超えた生涯学習の楽しさを学ぶ学習の場を提供する。 ③健康の保持や生きがいづくりをサポートし、健康寿命の延伸を図る。 ④自然に親しむ場を提供し、緑ある住環境の保全と推進を図る。
団体育成 (4)	①地域団体の活動をサポートし、団体の育成や連携を図る。 ②市民や各種団体等の交流を推進し、活動の活性化を図る。 ③より多くの市民が集う機会を提供し、地域の絆を深める。

#### （3）令和8年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・受講希望者が多い人気講座を継続開催し、サークル化を目指します。
- ・施設利用団体を講師に迎えた講座を開催し、新規会員の募集を支援する。
- ・参加者同士の交流促進を図るため、料理教室等のグループワークの講座の開催を増やしていきたい。

### 3 学習等供用施設 講座等実施計画書

(現時点での予定を記載のこと)

#### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加数(予定)	R7年度(含見込)
家庭教育 (1)	ぽかぽかタイム(旧びよびよタイム)	①③④	3 回	45 組 20 組
	喫茶室「みるく」※地区社協と共催	①②③④	8 回	240 組 91 組
	おやこであつまれ!	①③④	10 回	150 組 80 組
	ベビーリトミック	①③④	1 回	10 組 5 組
	ママハピタイム	①③④	2 回	8 組 3 組
青少年 教育 (2)	夏休みチャレンジ講座		回	人 人
	・絵画教室(全2日間)	①②	1 回	20 人 22 人
	・プログラミング教室	①②	1 回	10 人 10 人
	・ボードゲームで遊ぼう	①②	1 回	10 人 10 人
	冬休み書初め練習会	①②	2 回	延20 人 延20 人
	お楽しみ会	②③	1 回	— 人 49 人
	土器ッと古代	①②	1 回	20 人 18 人
	詰将棋にチャレンジ	①②③	1 回	10 人 5 人
	将棋体験教室	①②③	1 回	10 人 2 人
	元アマ名人将棋教室	①②③	1 回	10 人 5 人
	囲碁体験教室(全2回)	①②③	1 回	10 人 1 人
キッズ防災教室(パッククッキング)	①②	1 回	12 人 12 人	

成人教育 (3)	クッキング教室	①②③	2	回	各8	人	延16	人
	お菓子・パン教室	①②③	1	回	12	人	11	人
	シュートレン教室	①②③	2	回	各12	人	延24	人
	クッキング教室(和菓子)	①②③	1	回	12	人		人
	そば打ち体験教室	①②③	1	回	8	人	7	人
	クラフトバンド教室	①②③	1	回	12	人		人
	プチパーソナルカラー診断	①②③	1	回	8	人	8	人
	終活支援講座	①②③	1	回	20	人	4	人
	家庭菜園・園芸教室	①②③④	2	回	各10	人	6	人
	ヨガ教室	①②③	3	回	各8	人	延14	人
	菓膳&ヨガ教室	①②③	2	回	各8	人	7	人
	スマホ教室	①②③	2	回	各20	人	延24	人
	普通救命講習	①③	1	回	12	人		人
	美容教室	①②③	1	回	8	人		人
	大人の塗り絵教室	①②③	1	回	12	人	12	人
カービング教室	①②③	1	回	12	人		人	
団体育成 (4)	世代間交流	①②③	1	回	36	人	27	人
	富士センター音楽祭	①②③	1	回	—	人	247	人

**(2) 講座以外に行う事業 (※簡条書きで)**

- ・ハッピーハロウィーン
- ・トイトイランド
- ・体育館で遊ぼう
- ・クリスマス会
- ・富士センターフェスティバル
- ・美化交流会
- ・映画&音楽鑑賞会
- ・ふじっこダイニング
- ・シニア食堂
- ・憩いのサロン
- ・第三小学校児童早朝あずかり

### (3) 情報の提供 (※箇条書きで)

- ・市広報誌へのセンター自主開催講座等の情報掲載依頼
- ・センターホームページ及びX、インスタグラムなどSNSへの自主開催講座等の情報の掲載
- ・センターの情報を掲載した「センターだより」「児童ルームだより」の発行
- ・自主開催講座等の個別宣伝ポスターの作成、館内掲示
- ・上記で作成発行した「センターだより」「児童ルームだより」「宣伝ポスター」等を第三小学校区内の自治会へ回覧、小学校児童への配布、近隣店舗等への掲示を依頼
- ・フェスタ等の大きなイベント開催時には地域情報サイト「しろいまっち」や地域情報紙「地域新聞」等に情報を提供し、掲載を依頼

### (4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・ロビーを市民に開放
- ・児童ルーム及び遊具設備を子育て親子の交流の場、子どもの居場所・交流の場として開放
- ・1階休養室を高齢者の憩いの場、交流の場として開放
- ・2階学習コーナーを中高生の学習の場として開放
- ・市民や団体等に学習の場、リクリエーションの場、会合や交流の場として部屋を貸出
- ・地域自治会等の行事に施設保有備品等を貸出

### (5) 各館の特色を生かしたニーズの変化を意識した対応 (※箇条書きで)

- ・センター1階に来館者が自由に使用できる体温測定器、手指消毒液及び血圧測定器を設置。
- ・ロビーや各部屋に空気清浄器を設置。
- ・センター内に事務所を置く「第三小学校区地区社会協議会」及び「第三小学校区まちづくり協議会」と連携協力体制を整える

# 令和8年度 青少年女性センター 事業計画 (案)

## 1 課題 (※箇条書き、施設等のハード面は除くこと)

### (1) 講座や事業などに対する運営上の課題

- 各講座の周知において、広報紙や地域情報紙で、幅広く目に留まる工夫や参加しやすい環境整備
- 市民が興味関心もてる講座の企画
- 専門性の高い講師への講座依頼における講師料の調整。

## 2 運営方針（※課題に対してどのように運営を行うか）

### 令和8年度 青少年女性センター 運営方針

#### （1）全体の運営方針

- ・住民1人ひとりの福祉ニーズを把握し、みんなが安心して暮らせるまちづくりの実現を目指した運営を行う。
- ・誰もがありのままにその人らしく過ごせる場をコンセプトに、子どもから高齢者までの各年齢層が気軽に参加、交流できる事業を展開する。

#### （2）分野別方針（※簡条書き、①②③・・・と頭につけること）

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て世代が交流し、悩みや不安を解消できる機会を提供する。 ②家事、育児の固定的性別役割分担意識の解消を進める。
青少年教育 (2)	①市内の小学生を対象に、交流の場を設け仲間づくりを推進する。 ②市内の小学生を対象に、体験を通じて学習し、興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、体験学習の場を提供する。 ④講座を通じて子どもたちの自主性や、主体性を育てる機会の場を提供する。
成人教育 (3)	①各年齢層が気軽に参加・交流できる学習の場を提供する。 ②地域住民が集い、学ぶコミュニケーションの場を提供する。 ③悩みや心配ごとを抱える人のストレスを緩和する講座の取り組みを行う。
団体育成 (4)	①学習の成果を発表するなどの、団体活動を支援する。 ②社会参加の機会を求める人や参加に困難を抱える方にたいして、安心して参加できる環境を整え生涯学習を促進する。

#### （3）令和8年度 特に重点的に実施していく項目（分野や講座、事業など）

- ・興味関心のもてる講座の展開をおこなう。
- ・講座からサークルへの立ち上げを支援する。

### 3 青少年女性センター 講座等実施計画書

(現時点での予定を記載のこと)

#### (1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数		参加数(予定)		R7年度(含見込)		
家庭教育 (1)	おやこチャレンジ体験講座 (おやこチャレンジ)	①	5	回	50	人	40	人	
	家族みんなで料理講座	②	1	回	10	人		人	
	子育て支援講座 (ハッピースマイル)	①・②	3	回	30	人	8	人	
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
青少年 教育 (2)	小学生向け体験講座 きっずトライ! ( )	①・②	1	回	10	人	7	人	
	中高生向け体験教室 文系ナビ ( )	③・④	1	回	10	人	中止	人	
	中高生向け体験教室 理系ナビ ( )	③・④	1	回	10	人	7	人	
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
成人 教育 (3)	女性支援講座(ストレスフリー講座)	②・③	3	回		人		人	
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
団 体 育 成 (4)	こころのcafé	②	2	回	5	人	中止	人	
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人
					回		人		人

## (2) 講座以外に行う事業 (※箇条書きで)

- ・福祉センターフェスティバル
- ・就労支援B型事業所のみり（福祉作業所）との合同事業（クリスマスコンサート、カラオケのど自慢）

## (3) 情報の提供 (※箇条書きで)

- ・自主事業（イベント）情報は、市SNS、広報しろい、社協しろい、社協ホームページ、センター情報紙（清戸の杜）FaceBookにて情報提供
- ・講座のチラシを作成し、関係機関に配布
- ・就労に関する情報提供

## (4) 施設の提供 (※箇条書きで)

- ・青少年または女性団体、グループで行う活動のための施設の提供
- ・青少年の健全育成及び、女性の社会活動に資する情報及び資料の提供
- ・団体活動への協力。「ご意見箱」を設置し、利用者からの意見、要望を聞き、改善することでより良い施設の提供

## (5) 各館の特色を生かしたニーズの変化を意識した対応 (※箇条書きで)

- ・当センターは、青少年女性センターだけではなく、老人福祉センター、福祉作業所の3施設を運営しています。  
高齢者、青少年、子育て世帯、障がい者など、異なる層の利用者が交わり支え合う空間を設計し相互交流と理解の促進を図ります。